

スカイランタンを活用した農村イベントの意義と課題 ～『ゆめさき夢ランタン祭り』を事例に～

井口菜穂, 井上寛斗, 笠石明日香, 是兼歩季, 中野早百合, 服部佑亮, 宮川凜久, 三宅康成

1. はじめに

兵庫県姫路市夢前町にて『ゆめさき夢ランタン祭り』開催されている。そのイベントの主催者から、学生がスタッフとして参加し、一緒にイベントを盛り上げるために力を貸してほしいとの要請があった。学生らにとって地域イベントに携わることは、地域をフィールドにして学習活動に利用できると考え、本ゼミの3年生が主となり参加することを決めた。『ゆめさき夢ランタン祭り』にスタッフとして携わることで、イベント開催の目的や主催者である「夢前ゆめ街道づくり実行委員会」(以下適宜、「ゆめ街道実行委員会」と略称する)について深く知ることができた。それに伴いイベントで創出される効果や課題に興味を持つようになった。

本稿では、参加者へのアンケート調査や主催者へのインタビュー調査をもとに、スカイランタンに関する情報と全国の事例を概観し、農村地域活性化の意義と課題を明らかにした。

2. スカイランタンについて

(1)スカイランタンの定義と起源

1)定義

紙やビニールを立方体や直方体に成形し、火やLEDライト等で点灯する。火の場合、熱気球の原理を用い、LEDライトの場合、紙やビニールの中にLEDライトの入った風船を入れ、ヘリウムガスで風船を膨らませ、空にあげる。

2)起源

アジアやヨーロッパ諸国で行事や祭りなどのイベントで、ランタンに願いを込め、想いを書き込むことから始まった。三国時代に諸葛亮孔明が救援を要請するために天灯(現在のスカイランタン)が使われたとの伝承がある。国内のスカイランタンは『上絵木内の紙風船上げ』が起源とされている。灯火を付け、武者絵や美人画が描かる巨大な紙風船を真冬の夜空に上げる年中行事である。平賀源内が熱気球の原理を応用したとも言われており、当時は五穀豊穡や家内安全を願う虫焼きやどんと焼きと同時に行われていた。戦時中は一時期中断されていたが、昭和49年に復活した。



写真1 上絵木内の紙風船
(出所) 仙北市HP



写真2 夢ランタン
(出所) 筆者撮影

(2) 全国の動向

過疎化が進む今日の日本では地域活性化が重要視されており、地域に人を呼び込む様々なイベントが企画されている。スカイランタンもそのイベントの一つであり、近年至る所で開催されている。その結果、地域活性化を目的としたイベントは、全国で開催されているスカイランタンイベントの半数近くを占めている。各地域の魅力を伝えるために地元の野菜や特産品を返礼する事例もある。本稿で取り上げる『ゆめさき夢ランタン祭り』でもゆめ街道実行委員会の方々が栽培している野菜や果物などを返礼品としている。本イベントにおける目的は後述する。

全国の事例をみると、昨今は、猛威を振るっている新型コロナウイルスに関する目的が多くなっている。なかでも新型コロナウイルスの影響で中止になった夏祭りや花火大会の代わりに開催される事例が多数見受けられた。また、滋賀県大津市の『クリスマススカイランタン in ブランチ大津京』はコロナ禍で大変な仕事をこなしている医療従事者の方々に感謝の意を込めるとともに、新型コロナウイルスの早期収束を願うという目的の下で開催されている。

記念イベントでランタンがあげられる事例もある。山梨県甲府市では2019年に甲府市誕生500年を祝う『甲府生誕祭』が開催された。また、愛知県一宮市でも一宮市100周年の記念イベントがある。富山県の富山駅路面電車南北接続開業記念でもイベントの一角としてスカイランタンがあげられている。さらに、富山県高岡市の『LEDスカイランタンフェスタ』では小学校の閉校と120周年を記念してスカイランタンがあげられた。この

イベントでは在校生や職員が参加し、お世話になった学校への感謝と労いの気持ちを込めてあげるといふ目的がある。このように記念イベントではイベントの一環でランタンがあげられている事例が多い。

震災復興を目的とした事例もある。東日本大震災の被災地である宮城県石巻市では東日本大震災で犠牲になられた方々への追悼、次世代への「つなぎ」を目的とした事例があり、スカイランタンを迎え火として使用している。また、西日本豪雨の被災地である広島県呉市でも犠牲者への追悼や復興を目的とした事例がある。

これらの他にも事例数は少ないが、山形県米沢市では青少年育成を目的とした事例があり、同市の川西町の小学生を対象とした同市の生態系の変遷やスカイランタンの歴史や構造などを学ぶイベントがある。本稿のテーマである『ゆめさき夢ランタン祭り』の目的は上記の新型コロナウイルスに関する目的に加え、人材育成も目的となっており、代表であるK氏が退いた後にもこのイベントが開催できるよう、人材育成に注力している。

3. 夢前町の事例

(1) 『ゆめさき夢ランタン祭り』

『ゆめさき夢ランタン祭り』とは、兵庫県姫路市夢前町で行われているLEDランタンを用いたスカイランタンイベントである。このイベントにおいては、ランタンのことを、「夢ランタン」と呼称する。第1回は2021年8月8日に書写山円教寺三之堂広場、第2回は10月9日に櫃蔵神社横の置塩城跡山麓公園、第3回は11月20日に夢のさと夢やかたにて開催された。また2022年3月・4月に、第4回の『ゆめさき夢ランタン祭り』が予定されている。第1回では150個、第2回では300個、第3回では200個の夢ランタンがあげられ、フィナーレとなる第4回では、500個のランタンがあげられる予定である。

「夢ランタン」の特徴は2つある。1つ目は、書写山円教寺の御朱印付きランタンをあげることである。御朱印には来場者が願い事を書き、それが叶うよう空にあげることが目的となっている。2つ目は、夢前町で採れた農産物をお土産として持ち帰ることができる。ただ夢前町を訪れるだけでなく、イベントが終わり自宅に帰ってからも、願いを込めた御朱印を眺め、また、夢前町の農産物を味わったりしながら、思い出に浸ることができることも魅力の一つである。

『ゆめさき夢ランタン祭り』の料金は、毎回異

なり、以下のようになる(表1)。

表1『ゆめさき夢ランタン祭り』チケット料金

		第1回	第2回	第3回	第4回 ※1
夢ランタン セット	大人	3500円	3000円	3500円	4800円
	学生	3000円			
	小学生以下	2500円			
観覧セット		無料 ※2	500円	500円	1000円 (観覧同伴者)

(出所) 夢前ゆめ街道実行委員会 Instagram

※1) 第4回の料金は2022年1月14日時点

※2) 第1回の観覧セットは観覧自由・ロープウェイ代と入山料別途必要

夢ランタンセットとは、ランタン1個と入場券、短冊、和菓子、お土産をセットにしたものである。観覧セットとは、入場券と和菓子をセットにしたものである。また、第1回の書写山円教寺では、入山券やロープウェイ往復乗車券もセットの中に含まれている。毎回、チケットの料金が異なるのは、主催者であるゆめ街道実行委員会でも、多くの議論が交わされた結果であると言えるだろう。



写真3 第1回 ゆめさき夢ランタン祭り

(出所) 筆者撮影

(2) 「夢前ゆめ街道づくり実行委員会」について

『ゆめさき夢ランタン祭り』を主催するのは、ゆめ街道実行委員会である。夢前町で活躍する農家や旅館を営む人々によって構成され、およそ30名の委員が所属する。また、『ゆめさき夢ランタン祭り』にスタッフとして参加したことをきっかけに、兵庫県立大学環境人間学部の学生もゆめ街道実行委員会に加わった。

ゆめ街道実行委員会は、当初、姫路田園アート実行委員会という組織であった。姫路田園アート実行委員会は、水田に世界遺産の姫路城を描くために組織された。田園アートとは、水田をキャンバスに見立て、色の異なる稲を絵の具の代わりに

し、巨大な絵を描くことである。姫路田園アート実行委員会における活動の中で得た知識や、人と人とのつながりをもとに、ゆめ街道実行委員会が結成された。

ゆめ街道実行委員会は、これまで様々なイベントや取り組みが行ってきた。そのうちの1つが『ゆめ泥リンピック』である。『ゆめ泥リンピック』とは、夢やかた付近の水田にて、様々な競技を行うイベントであり、小学生を中心に、親子で楽しむことが出来る。このイベントは、姫路市の女子プロバレーボールチームであるヴィクトリーナ姫路の選手が参加するなど盛り上がりを見せた。しかし、イベントが1日で終わってしまうことで、滞在型の観光としては望ましくない点、観覧者が楽しめない点、競技において賞をもらうことが出来た人と出来なかった人で差が生じてしまう点など、様々な課題が浮き彫りになった。また、参加者が競技中に骨折し、救急車で搬送されるなど、事故も発生した。しかし、『ゆめ泥リンピック』とは対照的に『ゆめさき夢ランタン祭り』は、観覧者も楽しめること、事故の危険性が少ないことなどから、安全に配慮し、全ての人が楽しむことが出来るイベントであると考えられる。

このように夢前町において、様々なイベントや取り組みを行ってきたゆめ街道実行委員会であるが、委員はゆめ街道実行委員会における取り組みを仕事としているわけではなく、農家や旅館の経営など各自仕事を持っている。そのため、委員それぞれが忙しく、活動に専念できないこともある。しかし、夢前町で活躍する人材を育成するため、夢前町を元気にし、夢前町を多くの人に知ってもらうために活発な活動を展開しているのが、ゆめ街道実行委員会である。

4. 調査結果

(1) アンケート調査について

2021年11月20日(土)に夢のさと夢やかたで開催された『第三回 ゆめさき夢ランタン祭り 2021』にてアンケート調査を行った。

1) 参加者の特性

参加者の年齢は30代(22%)・40代(24%)・50代(21%)となっており、約7割を占めている(図1)。参加者の居住地は県内(姫路市以外)が半数を占めており、次いで姫路市(夢前町以外)(41%)が多くなっている(図2)。参加人数では1人での参加が7%と少なく、大半の参加者がグループで参加している(図3)。さらに参加者のグループの内訳として家族は73%と最も多い(図4)。以上のこ

とから、本イベントの参加者の特性として最も多くみられるのは、夢前町以外の県内から来た30～50代の家族連れであると考えられる。

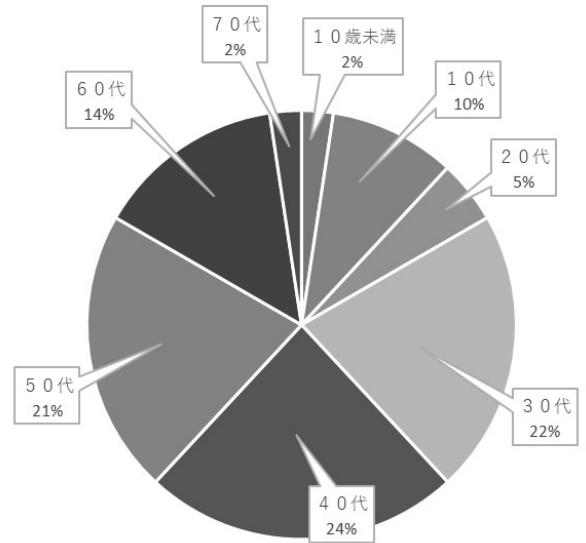


図1 参加者の年齢
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

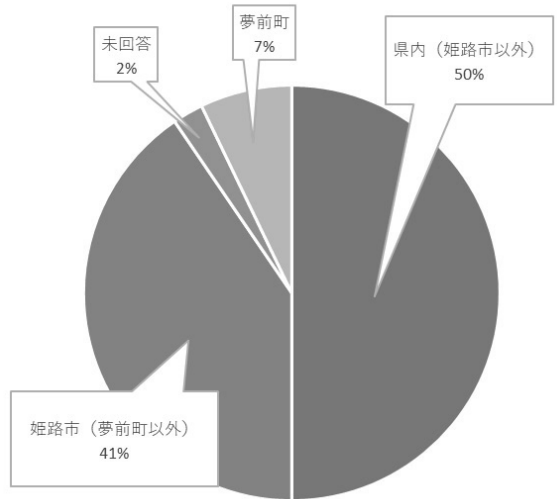


図2 参加者の居住地
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

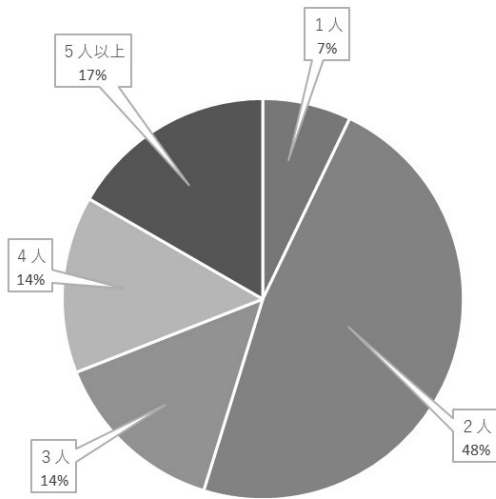


図3 参加人数
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

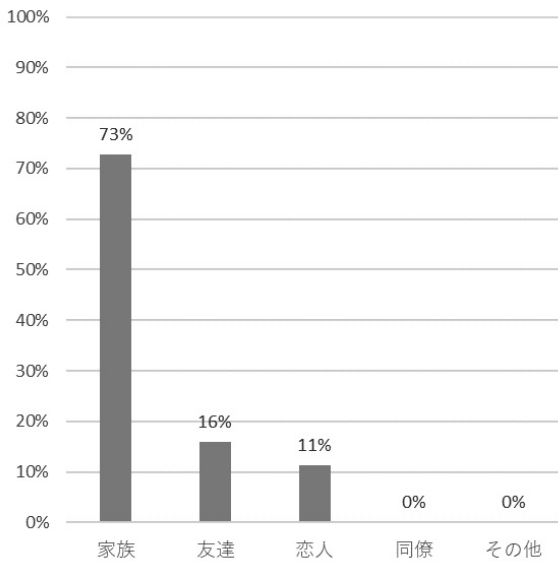


図4 複数参加者の関係性(複数回答可)
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート

2) 動機

「夢ランタン」の認知手段は、30%が公式 SNS (Instagram・Facebook など)、19%がその他の SNS(友達や知り合いの SNS など)と回答し、全体の約半数が SNS の認知であることが分かる(図5)。また、参加した動機としては43%が「ランタンをあげたいと思っていたから」、25%が「写真や話を聞いて実際に見てみたいと思ったから」という回答が多かった(図6)。これは8月、10月の「夢ランタン」や他の類似イベントの SNS 共有が要因になったと考えられる。

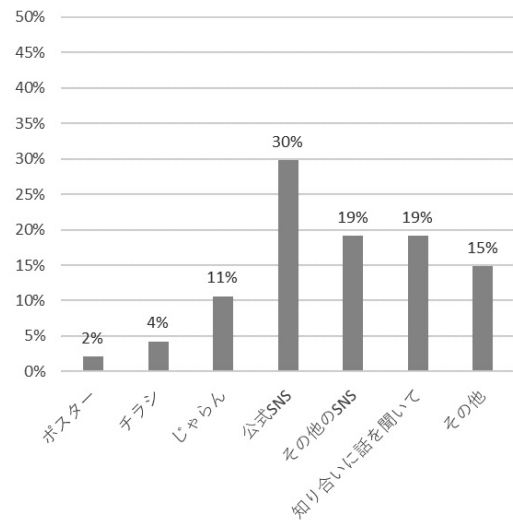


図5 「夢ランタン」の認知手段(複数回答可)
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート
注)「公式 SNS(Instagram・Facebook など)」は「公式 SNS」、「その他の SNS(友達や知り合いの SNS など)」は「その他の SNS」と省略

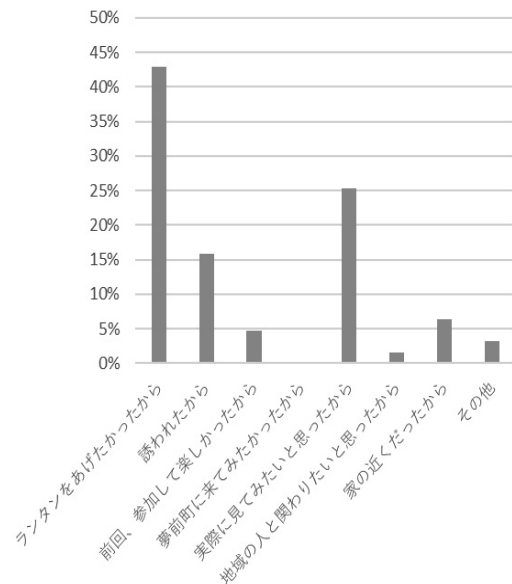


図6 参加の動機(複数回答可)

(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート
注)「家族や友達に誘われたから」は「誘われたから」、「写真や話を聞いて実際に見てみたいと思ったから」は「実際に見てみたいと思ったから」と省略

3) 感想

アンケート結果によると、ランタンをあげた人が84%、観覧した人が17%とランタンをあげた人が大半を占めた(図7)。イベントの感想として、「綺麗だと思った」と回答した人がランタンをあげた人の37%、鑑賞した人の46%という結果になり、それぞれで最も割合が高かった。次いで楽しかった、SNS に投稿しなくなったと回答した人が多く肯定的な意見が多く見られた(図8,9)。

また、ランタンの作成意欲を調査したところ 33%が「ランタンを作りたい」、33%が「どちらかと言えば作りたい」と回答し、全体の約6割の人が作成に意欲的であると分かった(図10)。

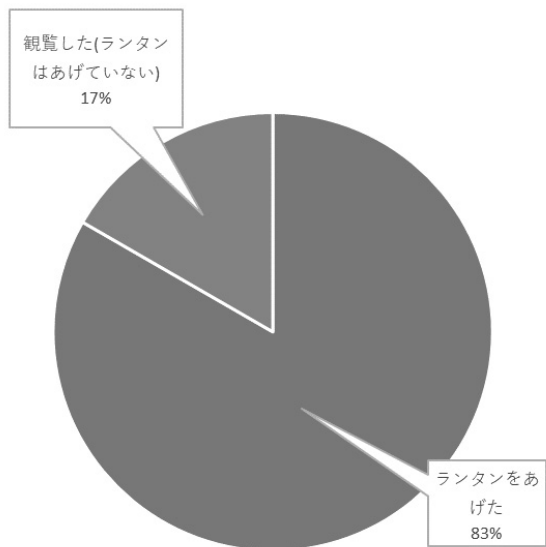


図7 ランタンをあげたか
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

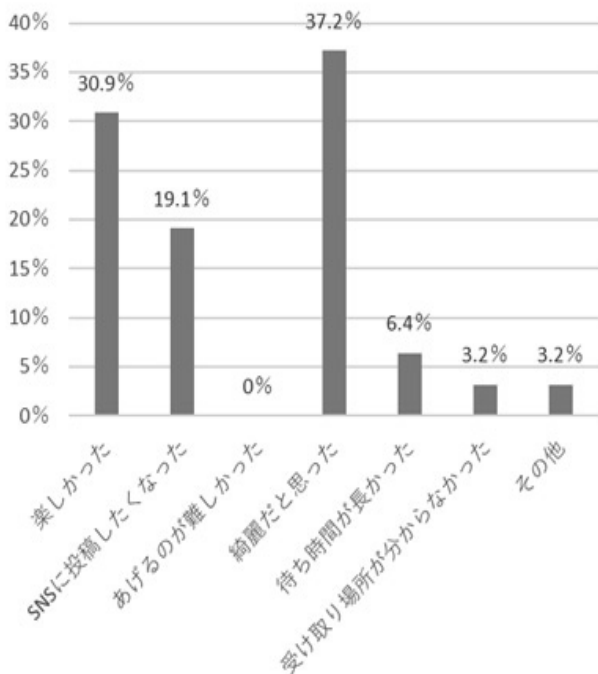


図8 ランタンをあげた感想(複数回答可)
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート

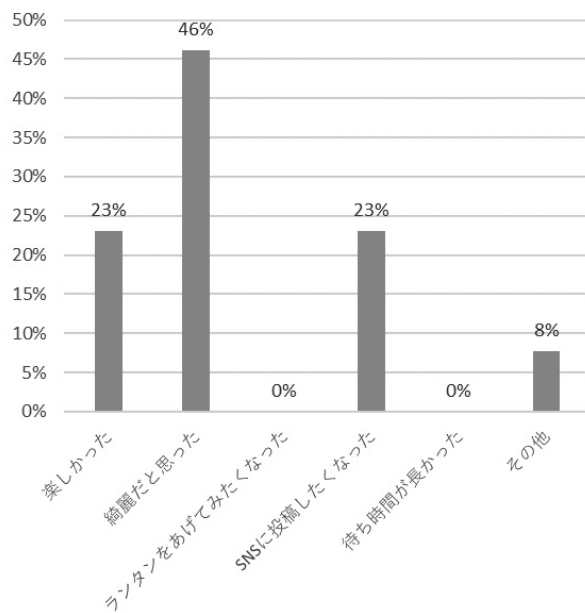


図9 ランタンを鑑賞した感想(複数回答可)
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート

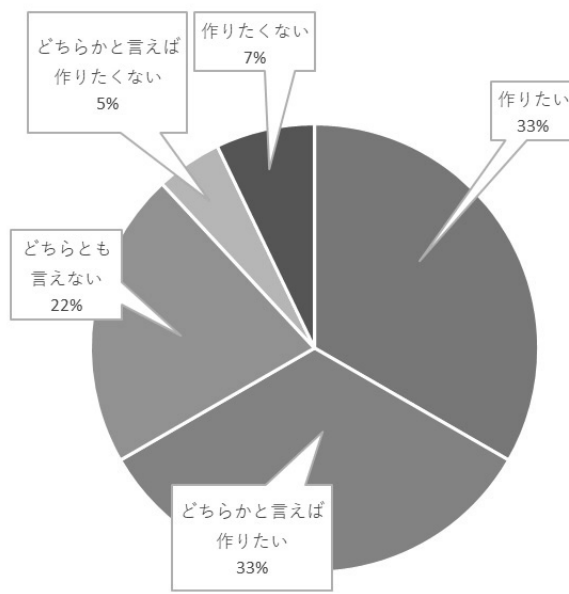


図10 ランタンの作成意欲
(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

4) 価格

価格設定の調査では 57%が 3500 円の夢ランタンセットについて「妥当だと思う」と回答したが、価格の許容範囲では 59%が 3000 円未満と回答した(図 11, 12)。以上のことから現在の価格に対して約 6 割の人が適正だととらえているが、理想としては現在の価格より低額を望んでいる人が多いと考えられる。

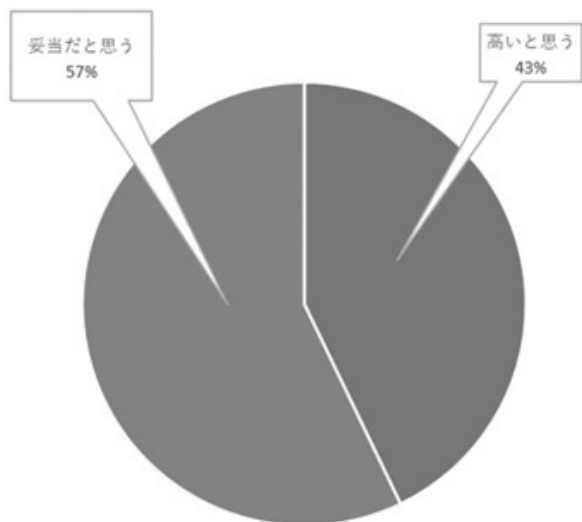


図 11 価格設定

(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

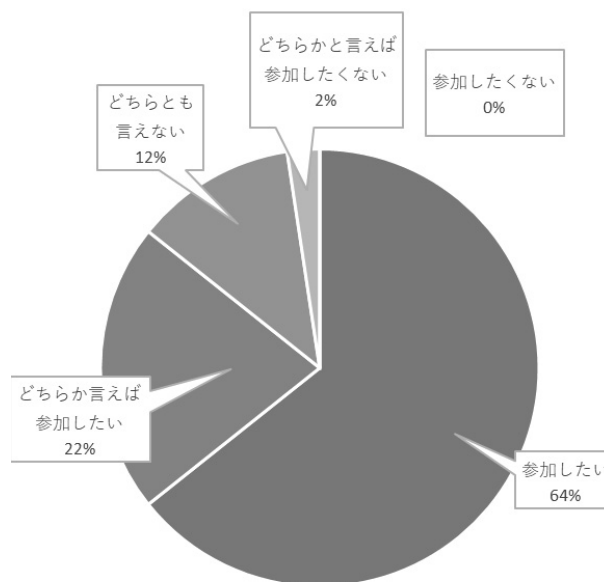


図 13 評価

(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

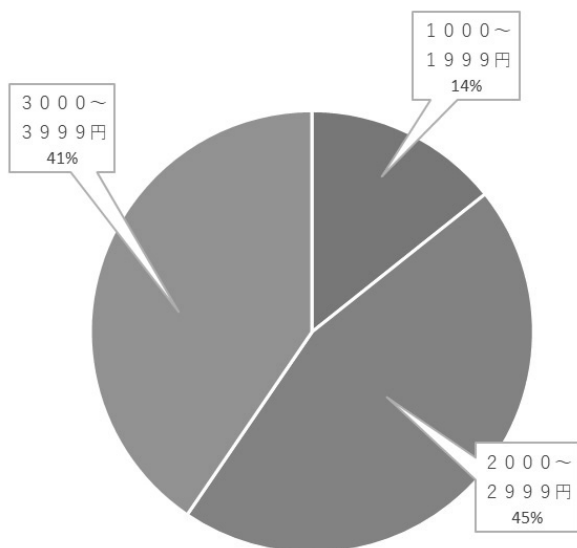


図 12 価格の許容範囲

(出所) ゆめさき夢ランタン祭り アンケート (n=42)

5) 全体的な評価

最後に全体的な評価を得るために、5段階で今後の参加意向を尋ねた(図 13)。「参加したい」が64%、「どちらかと言えば参加したい」が22%となっており、約8割以上がこのイベントに対して高い評価をしていると言える。

(2) インタビュー調査について

ゆめ街道実行委員会のK氏に、『ゆめさき夢ランタン祭り』の目的や開始したきっかけ、課題などについて、インタビュー調査を行った。

まず、『ゆめさき夢ランタン祭り』の目的についてである。K氏は「ゆめさき夢ランタン祭りの目的は3つあり、1つ目は、新型コロナウイルスで元気がないまちを元気にすること、2つ目は、自分の夢を改めて考える機会を提供すること、3つ目は、夢前町で活躍できる人を育てることであり、地域活性化は目的ではない」と話す。特に2つ目の目的である「自分の夢を改めて考える機会の提供」については、今後様々な取り組みを行いたいと話す。具体的には、『ゆめさき夢ランタン祭り』の際に、短冊に書いた夢が叶い、後日、書写山円教寺を訪れると、室町時代の御朱印を押してもらえるという取り組みである。この取り組みは、まだ実施されていないが、今後実施されると、参加者は自身の「夢」について考える大切さを感じることができるだろう。

次に、『ゆめさき夢ランタン祭り』を開始したきっかけについてである。K氏は「2020年の7月から8月頃に、姫路市で活動する地域おこし協力隊のN氏より、ランタン祭りの紹介を受け、興味を持った」と話す。しかし、ランタン1つの原価は1500円であり、これをどのように集めるかという課題から、イベントの実施をためらったという。それでも実施に踏み切った理由について、K氏は、「夢前町にある夢のさと夢やかたで試しに実施さ

れたランタン祭りを見て、感動した。この感動を、多くの人々に味わってもらいたいと思った」と話す。『ゆめさき夢ランタン祭り』は、打ちあがった瞬間、幻想的な光景に、多くの人々が感動するイベントだ。主催者の1人であるK氏も、この感動を届けたいという思いがあったようだ。

最後に『ゆめさき夢ランタン祭り』の課題についてである。K氏は主催者の中でも中心的な存在であるため、「私がいなくなってしまうと、このような大規模なイベントが出来なくなってしまうかもしれない。私がいなくなっても、イベントが実施できるよう、ゆめ街道実行委員会の中で、人を育てたい」と話す。農村地域でイベントを行うには、必ず人手不足や少子高齢化の壁が立ち上がる。ゆめ街道実行委員会においても、委員に若者が少ない。また、K氏のように、組織を引っ張って行くリーダーが育っていないという現状がある。その課題解決のためK氏は、「スタッフが『こうしよう！』と言い出すのを待っている」と話す。スタッフが、受動的ではなく、能動的に行動を起こすことが出来るように、中心人物が「人を育てよう」という試みのもと、様々な取り組みを行うのが、ゆめ街道実行委員会の特徴である。

5. 考察・提案

前章のアンケート調査によると、イベントの参加者は地域外の人が多いことがわかる。スタッフにおいても学生や行政など、多くの地域外の人々が本イベントに関わりを持った。これらより、夢前町ではコロナ禍において多くの来訪者を獲得したと言える。さらに、本イベントは地域外と地域内の人との交流の場としての役割を果たし、地域活性化に寄与していると考えられる。

本イベントは農家や学生、行政など様々な人がスタッフとして参加しており、イベントが開催される度に新たにスタッフが追加される。その中でも我々学生は初回から参加しているため、ランタン作成や受付などの諸作業において、経験量が多い。その結果、各班では中心的な存在となり、それぞれが各仕事に責任感をもち、働くようになった。これは、若手の人材が育成されていると考えられる。次世代のリーダーを作ることは、今後の農村地域のイベントや活動を促進させることができるのではないだろうか。

農村地域におけるイベントはコロナ禍において開催することは困難であるが成し遂げた結果、得るものも多い。それは地域活性化に少なからず良い影響を与えており、イベントを行う価値は大い

にあると言えるだろう。

一方で、主にアンケート調査から得られた意見を見ると、スカイランタンイベントには、たくさんの課題が残っていることが分かる。

1つ目が、人員不足である。『ゆめさき夢ランタン祭り』においても「動線や段取りが悪かった」や「駐車場や受付場所への誘導がなかった」等の参加者からの意見があり、人員が少ない中で、細部まで気を配ったイベント運営を行うのは、非常に困難であることが分かる。

2つ目は、新型コロナウイルス対策の難しさである。コロナ禍において、大規模なイベントを開催するには、密にならないような参加者の立ち位置の設定や、入退場の方法などには、様々な工夫が必要となる。また、アルコール消毒液の設置や参加者の検温を行うに当たり、通常時に比べて費用が必要となる。

『ゆめさき夢ランタン祭り』においても、毎回60人ほどのスタッフにより、運営されているが、それでも人員不足が生じている。また、コロナ禍でイベントを行うには、通常時と比べて多くの工夫が必要だ。人員不足が進む農村地域において、大規模なイベントを成功させるためには、課題が山積みである。

今日、日本の農村地域では、少子高齢化や人口減少が著しく進んでおり、その中で、地域活性化イベントを行うには、農村地域ならではの壁が立ち上がる。都市住民と呼ばれる学生や行政のような外部人材と、地域住民、自治組織が上手く連携をはかりながら、イベント運営を行っていくことが、これからの農村地域におけるイベントでは、重要になるのではないだろうか。

謝辞

アンケート調査に参加して下さったイベント参加者の皆様、インタビューに答えていただいたK氏に対して深く感謝し御礼申し上げます。

参考文献

1) ランタン定義

<https://dramani.net/?p=586>

2) 仙北市 HP 『上絵木内の紙風船上げ(市指定無形民俗文化財)』

https://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/spot/06_kamifuusen.html

3) 『クリスマススカイランタン in ブランチ大津京』

<https://shigamiru.com/main/contents/1000345/>

4) ゆめ街道 Instagram

5) 宮城県石巻市

<https://jp.neft.asia/archives/2775>

6) 広島県呉市

https://peraichi.com/landing_pages/view/skylanternhiroshima

7) 山形県米沢市

<https://yonezawajc.net/archives/4792>

8) 山梨県甲府市

<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kaifu500/event/ev2019/20191221sky-lantern.html>

9) 滋賀県大津市

<http://otsu-event.site/events/01ES09H0PFC5EV9DGHWD23DZKE>

10) ひめじスポーツコミッション 第3回ゆめ泥リンピック

https://hime-spo.com/meeting_himeji/1927/

11) ヴィクトリーナ姫路 公式

<https://www.victorina-vc.jp/>

12) 田舎館村たんぼアート

<http://www.inakadate-tanboart.net/about.html>